

保護者、市民の皆様へ

日頃は、本市の教育推進にご理解、ご協力を賜り、ありがとうございます。

令和5年度のまとめの月となりました。市内学校（園）の卒業（園）式が、徳島市立高等学校では3月1日（金曜日）、中学校では3月8日（金曜日）、小学校では3月14日（木曜日）、幼稚園では3月15日（金曜日）に行われます。また、3月22日（金曜日）には修了式を迎えます。子どもたちにとって卒業（園）式・修了式は、区切りとしての「終わり」と「次への始まり」でもあります。区切りを迎えるにあたり、これまでをふり返ると、コロナ禍の3年間は、生活が一変し、日常の当たり前が奪い去られる日々を過ごした幼児・児童・生徒の皆さんは、改めて、当たり前に戻り友達と関わり合える喜びをより強く感じる経験をし、たくさん学び、成長したと思います。

保護者・地域の皆様方には、これまで、制限のある各種行事・活動を含め、本市教育活動にご理解、ご支援いただきましたことに改めてお礼申し上げます。

令和6年の始まりとなる元日に能登半島地震、2日には航空機事故と、衝撃的な災害や事故が相次いで起こりました。1月のメッセージで「地震の復旧や救済に対し、今何ができるか考えたい。そして皆さんにも考えてほしい。」と伝えましたが、その後、学校（園）・生徒会・行政等、様々な立場で、備えや対応の検討を含め、義援金やボランティア派遣等、支援の輪が広がっています。

これからの社会を生き抜く「生きる力」を育むためには、社会で起こる出来事を、自分ごととして捉え、考え、気づきや学びを深めること。そして、他者との対話や協働、物事を柔軟に、前向きに考えるたくましさ等が重要となります。コロナ禍の経験や災害への対応が、様々な気づきや学びをもたらし、子どもたちの次へのステップに繋がることを願いつつ、本市教育活動においても、自然災害や事故対応を含め、幼児・児童・生徒の学力・体力向上・豊かな心の育成において、更なる工夫と充実に努めて参りたいと思います。

「次への始まり」に向け、3月5日（火曜日）・6日（水曜日）には、公立高校一般選抜入試が行われます。新型コロナウイルス・インフルエンザの流行も、まだまだ心配ですが、引き続き、ご家庭でもお子様の健康観察を重視していただき、今年度の「終わり」と「次への始まり」に幸多きことを願っております。

徳島市教育委員会 教育長 松本賢治